

**私立大学図書館協会西地区部会  
2013年度第2回阪神地区協議会定期総会議事要録**

日時：2014年2月27日（木）14：30～16：15

会場：流通科学大学 講義棟 I 1111 階段教室

出欠：出席校…42校（49名）

欠席校…30校（内、委任状提出校 29校）

**配布資料**

1. 私立大学図書館協会西地区部会 2013年度第2回阪神地区協議会定期総会資料
2. 私立大学図書館協会西地区部会 2013年度第2回阪神地区協議会定期総会出席者名簿
3. 阪神地区協議会運営委員会から大学図書館近畿イニシアティブへの回答書
4. 講演会資料

議事に先立ち、流通科学大学附属図書館 館長 野口博司氏から開会の挨拶があった。

**【議 事】**

議長選出まで、理事校である流通科学大学附属図書館 平林達也氏が議事を進めた。

**I. 議長選出**

阪神地区協議会議長校当番順位（定期総会議長校ローテーション表）に基づき、高野山大学図書館 木下 浩良氏を議長に選出した。

**II. 報告事項**

報告事項に先立ち、議長から、本日の出席校数及び委任状提出数が報告され、定期総会が成立している旨宣言された。

理事校（流通科学大学 平林氏）から総会資料に沿って、次の各項目について報告があり、これを了承した。

1. 阪神地区協議会報告
2. 西地区部会会務報告
3. 協会関係事項報告
4. 協会関連事項報告

大学図書館近畿イニシアティブについて、近畿イニシアティブ運営委員会から阪神地区協議会運営委員会へ審議依頼のあった内容とその回答を報告した。（回答書も別途配布）

### Ⅲ. 協議事項

#### 1. 書誌学研究会の廃止について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。書誌学研究会について2013年度をもって廃止とする。2009年度第2回の研究会を最後に「休会」状況であり、今後も新たに活動する予定がないため、廃止の提案があった。審議の結果、多数の賛成で承認した。

<意見>

##### ①関西大学 金氏

歴史ある会なので、「廃止」と決めた経緯を詳しく聞きたい。またいったん「廃止」した場合、再度設立は大変ではないか。

回答：「休会」状況が長く続いていることを考え、歴史ある会ではあるが現状に合わせた判断となった。また再度設立について、タイムリーで設立することは難しいかもしれないが、新たに設立する申し出に対して、いつでも受け付けが可能な体制である。

#### 2. 逐次刊行物分担保存実施要項の改訂(案)について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から要項の改訂について説明があった。逐次刊行物分担保存の保管義務がなくなり、役割として加盟大学で管理していくための要項を改訂した。審議の結果、多数の賛成で承認された。

<意見>

##### ①姫路独協大学 福田氏

協会関係の資料は1990年度の申し合わせにより西暦で統一しているので、要項も西暦で表示すべきではないか。

回答：西暦で表記したい。ただし、過年度は和暦のままとする。

##### ②関西福祉科学大学の田原氏

「相互の信頼関係に基づき」という一文を入れた経緯を知りたい。  
協定加盟館の「協定」表示はなくなるのか？

回答：「義務」がなくなるため、信頼関係で成り立つという意味を加えた。  
協定加盟館の「協定」表記が抜けていたため修正する。

#### 3. 分担保存委員会から運営委員会への業務移管について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から2014年度より

分担保存委員会業務を運営委員会へ移管する説明があった。審議の結果、多数の賛成で承認された。

<意見>

- ① 関西大学 金氏、大阪芸術大学 多賀谷氏  
第3条で「幹事校」を「運営担当校」と変えなければならない意味が不明である。

回答：指摘どおりであり、「幹事校」と表記に変更する。

- ② 大阪音楽大学 中川氏、神戸女学院大学 石村氏  
文字抜け、「紙」と「誌」の違いなど要項の内容の誤字・脱字がある。

回答：指摘どおりであり修正する。

#### 4. 阪神地区協議会定期総会成立要件の改訂(案)について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。第1回定期総会にて総会成立要件の変更が全会一致で承認されたため、今回は会則の改訂である。審議の結果、多数の賛成で承認された。

#### IV. 承合事項

特になし

#### V. 確認事項

1. 2014年度以降の阪神地区協議会役員校について  
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。
2. 2014年度以降の大学図書館近畿イニシアティブ委員について  
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。
3. 2014年度第1回定期総会議長校について  
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があり、次回阪神地区協議会定期総会の議長校は滋慶医療科学大学院大学である旨の報告があった。
4. その他  
特になし

#### VI. その他

1. 2014年度西地区部会研究会発表者について  
理事校（流通科学大学 平林氏）より来年度の西地区部会研究会発表者について

て説明があった。公募による募集であったが、応募がなく発表者を出さないことになった。

2. 「役員校輪番制確定基礎資料」調査について

理事校（流通科学大学 平林氏）より2014年度が調査年度になる旨の説明があった。調査の協力依頼があった。

最後に、本年度役員任期が最後になる研究会担当幹事校の神戸親和女子大学岩坪氏、相互利用運営幹事校の太成学院大学の茂木氏、来年度役員になる相互利用運営幹事校の大阪経済法科大学の朴氏より挨拶があった。

以上をもって議事を終了し、流通科学大学附属図書館 館長 野口博司氏から閉会の挨拶があった。

以上